

箱根組ニュース

第302号 2018年 2月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

上野原の要害山からコヤシロ山の尾根道は低いながらなかなかの手ごたえだった。

2018年の最初は、中央線の上野原からのアプローチで要害山からコヤシロ山の尾根道を歩きました。

1月21日(日)、京王線新宿駅発6時57分の特急高尾山口行きに乗車。高尾でJR中央本線河口湖行きに乗り換え、上野原に8時8分着。ホームに降りると冬の冷たい空気に迎えられた。

降り立ったのは、川名夫妻、宗像夫人、神山、奥村、有倉、星野親子、和田、西川、神吉、戸丸の12名。

8時30分の飯尾行きのバスに乗りこむ。駅前のバス停に並んでいると、ここではおなじみだがバス会社の職員が手作りの山の地図を登山客に配り山の説明をしてくれる。8時44分、鏡渡橋バス停着。

バス停横の要害山登山口入口が少し広くなっているのでここで身支度をし、準備運動。電線からばたばた水が落ちてくる。霜が解けて落ちてきているのだ。体操をしているとうるさいほどにぎやかに鳥がおしゃべりをしている。どう

やら中国から来たガビチョウという鳥らしい。調べてみたらヒヨドリより一回り小さく眉毛を画いたように白い模様が目周りにある鳥だ。とにかく面白いようによくしゃべる。あちこちでよく聞くことができる。

9時、歩き出す。まずは舗装路の傾斜のある道を登ってゆく。少し行くと平坦になる。冬枯れの周囲の山が美しい。また舗装路は急になり杉木立の間を進む。一層上がっていき、振り返ると上野原方面の街並みがよく見える。

9時8分、正面方向に丸い御碗型の可愛い要害山が見えてくる。山頂に一本の大きな杉の木があり、地元ではおっぱい山と言われているらしい。まだ集落は続いている。

9時23分、右側に小さな倉庫のような小屋が現れる。そのすこし上に銀色の四角い設備が現れる。どうやら水道のタンクのようなのだ。

道は少し前から砂利道になっていた。このあたりから山合が近づき林の中に



入ってゆく。

9時24分、右上石段の先に真っ赤な鳥居の山神社。その左側に山道はつながっている。ここに改めて要害山入口の看板がある。

ここから本格的に山道になる。杉の林の中に入ってゆくが青空が透けて見えて、木漏れ日が明るく差し込んでいく。道は標識に沿って左に曲がってゆく。その標識には「要害山秋葉大権現登山口」とある。

9時30分、急な九十九折れの道で土手を乗り越えるように登ると広い斜面に出る。そこには作業用のものだろうか小さな小屋がある。何か畑の用具でも置いてあるようだ。

現在の収支	
繰越収入	36060 円
	560 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	35220 円

切手残数	
82円切手	241枚
40円切手	131枚

また森に入
ってゆく。森を
抜けると明る
い雑木林の道
になり傾斜は
かなりきつク
なってくる。
9時58分、
要害山山頂に
到着。気温上昇
の為かガスは

多くなっていたが幸いにも富士山は真っ白な山頂を見せてくれた。山頂は思ったより広く360度の展望は見事だ。ここは戦国時代末期に作られた山城で大倉砦と言われていたらしい。主郭、二の郭、三の郭で出来ていたとのこと。大杉の下に秋葉大権現が祀られている。

10時15分、下山開始。
権現山、扇山方向の尾根が美しい。青い空に白い雲がのんびりと浮かんでいる。雑木林を下ってゆき、しばらくするとモミの木が並木道のように両側に並んでいる。

10時20分、ヒノキ林になりしばらくすると右側に石灯籠が現れる。地図にはないが右、登下、左、大倉の十字路だ。

右は自然林、左はヒノキ林の尾根のアップダウンをいくつか超える。そのうちにやせ尾根は自然林になる。

10時43分、風の神様。小さな社がある。右に直角に折れるように下ってゆくが

2月17日(土)、18日(日)一泊二日で
奥日光湯元温泉でスノーシューです。

ラクダコース

二日間で行く4〜5時間

一日目は竜頭の滝から湯元温泉を歩き(2時間半)、日光グランドホテル宿泊。二日目は湯元温泉付近をスノーシューで楽しみます。

※靴はスノーシューに合うようにしっかりとした登山靴を履いてください。

○持ち物 昼食、アイゼン(軽アイゼン)、スパッツ、防寒着、手袋、ストッキング、飲料水、非常食、雨具、傘、ポットにお湯、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは1月5日(月)までに(残り3名)

集合 2月17日(土)

東武浅草駅 7:30 発

特急けごん5号 東武日光行き

東武日光 9:20 着(バス乗換) 9:35 発

(湯元温泉行) 竜頭の滝 10:36 着

各自次の切符を購入の事

東武線各駅、東武トップツアーズ、JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行で販売。

① まるごと日光東武フリーパス

(浅草から4150円、バスの乗り降り自由)

② ※特急指定席も別途購入

浅草〜東武日光 1440円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/



ロープもついている急な下りだ。降りた鞍部で休憩。その後はヒノキ林の少し広い尾根を登ってゆく。立派なモミの木も交じってくる。

11時11分、再び自然林のやせ尾根になる。

の山はまだ山と高原地図には載っていない。少し早いがここで昼食だ。お湯を沸かして梅酒のお湯割りが美味しい。川名さんの熱燗はいつものようにうまい。レジャーシートの上のメインテーブルには持ち寄りの美味しいおかずが並ぶ。

登山口の看板、そして立派な舞³台？がある稲荷神社。土壁の土蔵がある。火の見櫓の近くの農家の方が用水路でイモ洗い用の水車を回していた。庭木も立派だった。道が左に曲がりカーブミラーを右折して車道に出る。

12時45分、下山開始。木漏れ日のヒノキ林の尾根を下る。

半過ぎのバスで上野原駅へ。駅前いつもの店の二階で美味しいお酒をいただいて解散。

1時11分、右に用竹方面の道を分ける。倒木を越えてゆくと道は谷を越えながら左に曲がってゆく。

1時29分、御林峠。

林道はまっすぐ行くが、山道は左に芦垣方面に下りてゆく。落ち葉の深い歩きやすい下りだ。古いが大きな鳥の巣があった。鷹か何かの巣だろうか？

2時29分、右側に

民家が見えてくる。右上空には先ほどからパラグライダーが大きく見えてきた。足元には小さなフキノトウがいくつか見られた。

2時34分、権現山

奥日光湯元温泉スノーシュー予定

2月17日（土）東武浅草発7時30分
特急げごん5号～東武日光9:20（湯元温泉行バスに乗り換え）
9:35 or（9:45）竜頭の滝バス停下車 10:36（10:46）
○歩行2時間半 竜頭の滝～戦場ヶ原自然研究路～小田代橋～湯滝（湯ノ湖）～湯元温泉（途中で各自持参の昼食）

★宿泊 日光湯元温泉日光グランドホテルほのかな宿樹林
（湯元スキー場前）

2月18日（日）
午前中、スノーシューコースを散策（約2時間ほど）
温泉地で昼食を食べて帰京

※東武フリーパスと行きの特急指定席は各自確保してください。
総費用 約18590円
内訳・宿 約12000円、
交通費 まるごと日光東武フリーパス 4150円
行きの特急指定券 1440円
スノーシューレンタル 約1000円

※他昼食代等が必要です。

○定員12名（現在の申込者 和田、及川、太田、星野、川名夫妻、神山、宗像夫人、戸丸の9名）

●申し込みは2月5日（月）まで、残り3名です。

